

1. 科目名 (単位数)	知的障害教育Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SSMP3349 SSMP3449 SNMP3449 SCMP3449 SBMP3449
2. 授業担当教員	立松 英子		
4. 授業形態	知的障害教育Ⅰをふまえた講義、演習、模擬授業	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	知的障害教育Ⅰを先に受講することが望ましい。		
7. 講義概要	本科目では、知的障害教育Ⅰで学んだ理念や知識をふまえ、医療・福祉・労働など近接分野の最新の動向に関心を広げつつ、キャリア発達支援、保護者との安定した関係の構築、外部専門家との有機的な連携を視野に入れた学習を行う。また、個別の教育支援計画、個別の指導計画、学習指導案の作成を通して、実態評価や教材作成、指導方法の基礎知識も身につけ、多様な実態に対応できる実践力、即戦力を身につける。		
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下に関して「知的障害教育Ⅰ」で学んだ基礎知識を応用し、初歩的な実践ができる。</p> <p>① 知的障害者を取り巻く社会事情のさらなる理解。</p> <p>② 知的障害の実態把握・アセスメント。</p> <p>③ 多様な実態に応じた個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成。</p> <p>④ 個に応じた教材・教具の考案と工夫。</p> <p>⑤ 学習指導要領の内容を踏まえつつ個々の実態に応じた指導案の作成。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>第11回から第14回において、「各教科等を合わせた指導」についての模擬授業を行う。</p> <p>・児童生徒の実態を決め、グループで役割分担をして、教材教具を工夫し、指導案を提出してください。</p> <p>・指導案は、展開部分は共通でも、「指導観 (題材観、児童生徒観、教材観)」の部分を各自考えて、全員が提出してください。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】春期の教科書「キーワードブック 特別支援教育」を常に見直すこと。</p> <p>【参考書】①日本発達障害福祉連盟編『発達障害白書 2022年版』明石書店、2021年。 プリントして話題にします。</p> <p>②文部科学省『教育支援資料』 Web サイト http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250.htm</p> <p>③文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編 (幼稚園・小学部・中学部) (平成30年3月)』開隆堂 2018。</p> <p>④文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部) (平成30年3月)』開隆堂 2018。</p> <p>⑤文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 総則編 (幼稚園・小学部・中学部) (平成30年3月)』開隆堂 2018。</p> <p>(③～⑤は、「知的障害教育Ⅰ」と共通する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 各種教育計画の概要がわかり、指導計画を作成するための基礎を理解したか。</p> <p>2. 知的障害者を取り巻く、就学前や就労に関する医療や福祉の制度にも関心がもてたか。</p> <p>3. 事例の実態把握及び対応についての基礎的知識が身に付き、指導案作成から授業実践までのイメージをもつことができたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>実際に教壇に立ったときに、教師としての計画性と柔軟性をもって実践できるかを念頭において評価する。</p> <p>1 模擬授業 (発表態度、内容) 総合点の30%</p> <p>2 授業での態度 総合点の20%</p> <p>3 論文課題・期末試験 総合点の50%</p> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>①春期の内容をふまえて講義・演習を実施しますので、春期の教科書を振り返りながら参加してください。</p> <p>②知的障害教育の教師には、人を大切にする姿勢、相手を主役として活躍させる姿勢、不測の事態に柔軟に対応する知識と技能が必要です。集団活動を組織・計画し創造する能力が特に必要です。授業だけでなく人と関わるさまざまな体験を積み、人間性豊かな教師をめざしてください。</p> <p>③授業では、障害のある子どもたちを託せるかどうかという視点で皆さんを見ています。現場に出たときの自分をイメージしながら発表や演習を行って下さい。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション／知的障害者を取り巻く世界	事前学習	「知的障害教育Ⅰ」で学んだ内容を振り返っておく
		事後学習	模擬授業を行なうための仲間作りや下調べをしておく。
第2回	特別支援教育に関する最近の動向	事前学習	「埼玉の特別支援教育」を読んで、疑問点を挙げておく。
		事後学習	自分の出身都道府県の「特別支援教育」にWebで調べておく。
第3回	知的障害教育における各種教育計画	事前学習	春期の教科書で、「個別の教育支援計画」、「個

			別の指導計画」を読んでおく。
		事後学習	上記計画の作成が義務化されている根拠を学習指導要領解説で確認しておく。
第4回	知的障害特別支援学校における学習指導案づくり	事前学習	春期の教科書で、「指導案作り」、「評価と記録」を読んでおく
		事後学習	グループで、模擬授業の計画を立てる
第5回	実態把握とアセスメント	事前学習	春期の教科書で、「発達検査・診断」を読んでおく
		事後学習	学習したアセスメント方法を自分でできるようになっておく。
第6回	知的障害児の発達支援と教材・教具	事前学習	春期の教科書で、「障害児教育における教材・教具」を読んでおく。
		事後学習	教材・教具をなぜ使うかについて説明できるようにしておく。
第7回	行動障害への対応	事前学習	春期の教科書や「教育支援資料」で、ASD や ADHD に関する部分を読んでおく。
		事後学習	「ADHDやASDの行動障害への対応のポイント」をまとめておく。
第8回	学校教育と危機管理	事前学習	特別支援学校で起こる「危機」とは何か、考えておく。
		事後学習	「通常の危機」と「災害時の危機」について教師の役割を考えておく。
第9回	キャリア教育と就労支援	事前学習	春期の教科書で、「キャリア教育・進路指導」「障害者のライフステージと教育・福祉」を読んでおく。
		事後学習	キャリア教育」とは何か、理念や法的根拠について説明できるようにしておく。。
第10回	交流及び共同学習	事前学習	春期の教科書で、「交流及び共同学習」を読んでおく。
		事後学習	「交流及び共同学習」の法的根拠や、「副籍制度」、「支援籍制度」について説明できるようにしておく。
第11回	「日常生活の指導」の実際と指導計画・模擬授業	事前学習	春期の教科書で、「日常生活の指導」を読んでおく。
		事後学習	「日常生活の指導」の模擬授業を見て気づいたことをまとめる。
第12回	「生活単元学習」の実際と指導計画・模擬授業	事前学習	春期の教科書で「生活単元学習」を読んでおく。
		事後学習	「生活単元学習」の模擬授業を見て気づいたことをまとめる。
第13回	「作業学習」の実際と指導計画・模擬授業	事前学習	春期の教科書で「作業学習」を読んでおく。
		事後学習	「作業学習」の模擬授業を見て気づいたことをまとめる。
第14回	「自立活動」の概念理解と指導計画・模擬授業	事前学習	春期の教科書で、「自立活動」を読んでおく。
		事後学習	自立活動の6区分26項目について説明できるようにしておく。
第15回	知的障害教育の教育課題 (まとめ)	事前学習	配布されたプリントについて、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	提示された試験のポイントを再確認しておく。
期末試験			